208 ^{99m}Tc-Plによるコロイド肝シンチグラム欠損像の検討

兵庫がんセン　放
○熊野町子，松尾利樹，檜林和之

^{99m}Tc-Sn-colloid肝シンチグラムで欠損像の認められた肝疾患に対して^{99m}Tc-Plを用い，欠損部の肝胆道系の性状を検索したところ，^{99m}Tc-Plが肝腫瘍の診断に利用し得ることが判明したので報告する。

方法：^{99m}Tc-Sn-colloid肝シンチグラムで欠損像を呈した60症例（び漫性肝疾患13例，原発性肝癌34例，転移性肝癌8例，転移性肝癌の疑い5例）に^{99m}Tc-Plを5 mCi静注し，シンチカメラを用いて注入10秒から60秒迄は5秒間隔の露出時間で連続撮像した。ひき続き1分～2分のpreset timeでシンチグラムを撮像した。その後は5分ごとのpreset count 150Kにて60分後経時的にシンチグラムを得た。シンチグラムを動脈相（10秒～30秒迄），門脈相（30秒～1分），肝血液プール（1分～2分）並びに肝胆道シンチグラム（5分～60分迄）の各相につき疾患別に比較検討した。

成績：び漫性肝疾患13例のうち10例は胆嚢（6例），胆管（5例）による偽欠損像であることが判明した。さらに肝シンチグラムで転移性肝癌を疑った5例は胆管（4例），胆嚢（2例），腎（1例）等による偽欠損であった。他方，原発性肝癌34例のうち18例に肝シンチグラムの欠損部に^{99m}Tc-Plの集積を認め，7例に肝シンチグラムの欠損より大きい欠損像を認めた。残り9例は両シンチグラムで同じ形態を示した。このように肝シンチグラムと^{99m}Tc-Pl肝胆道シンチグラムで原発性肝癌34例中24例に解離像が認められた。一方，^{99m}Tc-PlによるRl-アンジオグラフィを施行した原発性肝癌32例中22例に動脈相で病巣部に集積像をみとめ，門脈相では32例中18例に集積をみた。さらに，肝血液プール相では34例中20例に腫瘍部に集積がみられた。転移性肝癌では各相いずれも集積性は得られなかった。

考按並びに結語：肝シンチグラムで肝門部の欠損を呈した症例に^{99m}Tc-Pl肝胆道シンチグラムを併し，肝門部欠損が肝胆管系による偽欠損である場合の判定に有用であった。さらに，原発性肝癌に集積性を認める症例が見られ，これは肝細胞と同じ代謝過程で，腫瘍細胞に摂取され，肝胆道系に排泄されたものと推定され，原発性肝癌の症例による集積性の差違は肝細胞癌の分化度の違い並びに胆管形成の有無によることが考えられた。

^{99m}Tc-PlはRl-アンジオグラフィとしても応用可能であり，注入早期相での集積像は肝病巣が血管増生であることを示し，経時的変化をみることにより，病巣部の診断に有意義な情報を与えてくれる等，^{99m}Tc-Plは肝腫瘍シンチグラフィとしても利用し得ることが判明した。

209 肝シンチグラフィーにてＳＯＬを確認した症例に於けるＡＦＰ，ＣＥＡ，及びＨＢs抗原抗体との関係の検討

兵庫県立塚口病院　研究検査部ＲＩ検査室
○稲本康彦，東谷康治，白木　量，
中田成己

肝腫瘍，特に原発性肝癌とＢ型肝炎ウィルスとの関係は近年注目を集めている。吾々の病院で1977年に肝シンチグラフィーを実施した症例に於いて，ＲＩＡ法によるＣＥＡ，ＡＦＰ，ＨＢs抗原，抗体との関係を検討したので報告する。

1977年に於ける肝シンチグラフィーの実施件数は計350例で，その内正面，背面，右側面のいずれかに於いてＳＯＬを確認し得たものは31例であり，臨床所見の諸種の検査結果と合わせて最終診断で原発性肝癌と考えられたものはその内24例である。その他の症例は他臓器よりの肝転移であった。原発性肝癌と診断した症例で，肝シンチグラフィー上でup takeの増強した脾腫，骨髄の描出等一般に肝硬変のpatternとされているものはその中で12例であり，男女比は20例と4例で男性が多数であった。年令的には30才より78才迄わたっているが，60～65才が最も多かった。肝腫大は24例中14例であった。

ＨＢs抗原陽性例は9/21例で約43％で，抗体陽性例は11／21例で約52％であり，抗原又は抗体の陽性率は19／21で95％で，抗原と抗体の両者が陽性例は4例であった。一般的日本人の抗原陽性率1.3～2.6％及び抗体陽性率約20％（内科30，1974）よりかなり高値を示している。原発性肝癌でＡＦＰ300 mμg/mℓ以上は15／24例，1000 mμg/mℓ以上は12／24例であった。併しＣＥＡ 5 ng/mℓ以上は2例のみであった。転移性肝癌では，ＨＢs抗原及び抗体の検査施行例は7例中3例であり，その内1例のみ抗体陽性であった。併しＣＥＡ 5 ng/mℓ以上は6／7例と多数を示した。

結語　当院での原発性肝癌症例に於いてＨＢs抗原抗体陽性率は有意に高値を示し，Ｂ型肝炎ウィルス感染予防の必要性が強調される。

Presented by Medical*Online